

シロチドリ



平成28年3月18日発行

第2回在宅医療連携勉強会

平成28年1月13日(水)19時～荒尾市医師会館で第2回在宅医療連携勉強会が開催されました。お忙しい中8名の先生方がご出席くださいました。前回の勉強会に引き続き、在宅ネットあらおの活動報告、在宅医療への取り組みについて活発な意見交換がされました。かかりつけ医を中心とした事例検討会をとおして、今後も勉強会を進めて参りますので会員の皆様、ご出席をどうぞよろしくお願いいたします。



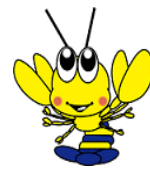
在宅ネットあらお運営委員会 基本研修開催！

「認知症支援ボランティア“ぼっけ”の活動について」

平成28年1月29日(金)荒尾市医師会館で荒尾市在宅医療連携室 在宅ネットあらお運営委員会 基本研修Ⅰ 「認知症支援ボランティア“ぼっけ”の活動について」と題し、北海道より砂川市立病院 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 大辻 誠司氏、認知症支援ボランティアぼっけ会長 岡 和子氏をお招きし、ご講演いただきました！

認知症ボランティアぼっけは、利用料1時間600円で男性7名、女性32名、合計39名のボランティア会員の皆様が利用者の方の受診の付き添い、話し相手、見守り、買物などの支援活動をされています。また、ぼっけ養成講座を年1、2回開催し、参加者の中から会員を募集されています。講演ではぼっけ設立までの経緯やボランティア活動の実情などをお話していただきました。

講演終了後のアンケートには「介護保険では補えない部分が多い中、ぼっけのような団体があればありがたい」「ぜひ荒尾にもぼっけを！」「荒尾にも必要な活動」とのお声があり、これからの荒尾にとって大変有意義なご講演になりました。



第9回事例検討会開催！

熊本県地域拠点型認知症疾患医療センター
在宅ネットあらお運営委員 古林 美香

平成28年2月3日(水)19時～21時、荒尾市医師会館会議室にて、「救急医療」をテーマに第9回荒尾市在宅医療事例検討会が、地域拠点型認知症疾患医療センター主催、ほのぼの老人懇談会、在宅ネットあらお共催で開催されました。当日は底冷えがする寒い節分の日ではありましたが、医師をはじめとする医療、行政、消防、介護事業所、看護大学等、様々な機関より90名の参加がありました。

総合司会を介護老人保健施設 聖ルカ苑 黒田 直氏、第1部の座長を在宅ネットあらお運営委員会副委員長である中村光成先生にして頂きました。講演として、荒尾市民病院 救急科部長松園幸雅先生により『救急医療における認知症の現状』について、講話を頂きました。

講話は、高齢者にみられる症状の特徴から始まり、救急医療における高齢者受診の現状報告が行われました。救急における認知症高齢者の問題として、①救急の高齢者(65歳以上)の40%が認知症あるいは認知症疑い②認知症(疑い含む)の約50%が入院治療へと移行③高齢者単身世帯の急増④入院加療中に認知症症状の出現も多い⑤認知症疾患医療センターなどの専門機関との連携づくりが必要等との報告が行われました。



第2部では、事例検討会として、荒尾市地域包括支援センター保健師 高木大地氏より、「地域包括支援センターにおける救急対応の現状と課題」が事例提供されました。在宅で生活する市民に対する救急医療への繋ぎ方について、地域包括支援センターの立場としての問題提議が行われました。

グループワークでは、ほのぼの老人懇談会の関係者がファシリテーターとなり、様々な立場での意見交換が積極的に行われました。特に、印象的であったのは、救急時の連携ツールとして、緊急時の連絡先やかかりつけ医などを記載した用紙をバトンに入れて、冷蔵庫に保管し、その情報を救急隊員が確認することで、万一の際の救急救命措置に活用できる“命のバトン”の紹介でした。

今回の事例検討会へ参加された方のアンケート報告では、認知症高齢者の救急医療の現状が解り、様々な専門職の意見を知ることができたことを感謝する言葉を多く受けることができました。会場一杯となる多くの方が事例検討会に参加頂き、盛大に開催できましたことを、ご協力頂きました関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。



お知らせ



在宅医療連携室運営委員会基本研修
テーマ：「在宅での多職種連携と看取りについて
～ 最後まで幸せに過ごせるために ～」

日時：H28年3月30日(水)19時
講師：山岡 憲夫先生(やまおか在宅クリニック院長)
座長：中村 光成先生(西原クリニック院長)



荒尾市在宅医療連携室 在宅ネットあらお
荒尾市宮内1092-18(荒尾市医師会敷地内)
TEL:0968-57-9350 FAX:0968-57-9605
<http://zaitaku.arao-med.or.jp>
ホームページにも載せておりますのでご覧ください。
担当：青木 ・ 長岡